



安倍政治を打ち倒そう

現在の安倍内閣の目指している平和憲法改悪と軍備の強化、働き方改革、福利・厚生、年金の切り下げ等が強行されていますが、58年前の「三池と安保」のたたかいは状況にあるように思います

当時私は28歳の青年でした。このたたかいの原因は、三池の歴史的な運動の活動家1200名の指名解雇を強行したことにあり、職場闘争、学習闘争、家族ぐるみの排除と、全国の炭鉱労働者11万人の首切りを目指したものでした。このたたかいは全国の労働者が三池のたたかいを、ともにスクラムを組んでたたかいました。このたたかいは日米安保条約改定反対の一大政治闘争と連動し全国の労働者と全ての勤労者・文化人が国会を取り巻く大衆行動を展開したのです。

三池現地では3月29日久保清さんが刺殺され国会前では、6月に樺美智子さんが撲殺されました。その時の首相は岸信介で国会に機動隊を導入し野党排除後、安保条約改定の採決を強行したのです。その孫が現在の安倍晋三です。岸の「日米軍事同盟」を強行し、平和憲法を改悪し、反動的な政治を目指しているのです。岸は戦前の犯罪を問われA級戦犯になり、その後釈放され、首相となりました。安倍晋三もそれを受け継いだ政治を目指しています。

私たち働く者が団結して、職場の安全・民主的な労働を勝ち取り、全ての人が家族ぐるみで、情勢と理論を正しく理解し、運動の強化に努めましょう。

労働大学企画編集委員 川野 房雄